

・杉並区立中瀬中学校 学校運営協議会だより【令和5年9月】・

中瀬中学校 学校運営協議会

会長 唐澤 弘子

・令和5年9月25日学校運営協議会の概要・

1. 夏季休暇中及び2学期を迎えての生徒・学校の様子や予定などを伺い、意見交換をしました。
 - ① コロナ感染は散発的、インフルエンザはややまとまっての発症が傾向のようです。9月2~3週に多かった欠席者数も落ち着き、峠は越えたのでは?と思われます。あらためて給食黙食を徹底するなどの注意が払われているようです。
 - ② 生徒会役員選挙はICTでの公報配信と対面での演説を組み合わせたハイブリッドで進められ、区選挙管理委員会から借用した本物の投票箱を使用するなど、社会参加の訓練にもなっています。
 - ③ 中間考査(9/26・27)から手の負傷者に時間的猶予を与える「合理的配慮」が認められたことは、重要な前進と評価出来ます。
 - ④ 国際交流(9/30)には留学生44名参加、文化交流・他国自国への興味喚起の行事として定着です。
 - ⑤ 職場体験(2年生)は派遣先より好評価、大人も参加する「振り返り」は(10/14)の予定です。中瀬フェスタ(10/14)は生徒中心に積極的に準備が進み、乳幼児親子交流会は3年生全員参加授業(10/5・12 下井草子育てプラザ)で5回に分け行われます。ボランティア活動(井草区民センター祭り・赤い羽根共同募金など)にも積極的参加が見られ、コロナ以前の日常が戻りつつあるようです。
 - ⑥ 音楽発表会(10/27)は生徒数(=保護者数)が多く、慎重な運営検討が行われているようです。
 - ⑦ 都立高校男女定員枠の来年度受験(現3年生が対象)からの撤廃が公表されました。生徒の受験方針への影響(受験校の選択)が今後徐々に出てくることが予想されます。注視が必要です。
2. PTA役員とCS委員との懇談会(9/13)はテーマ「より良い中瀬中学にするために」で、4~5人グループ自由討議を行いました。[学校運営協議会だより(令和5年度)](6年3月発行)に掲載予定]ディスカッションの中で、「コロナにより学校での生徒同士の接触・交流・会話のリアルがやや希薄になっている穴を埋めるような形で、スマホによる校外外部との接触が増えているのではないか?」との認識・問題提起がありました。推定では約9割の生徒がスマホを使用、学校は外部接触のリスクを承知し、様々な機会に注意を促しているようです。保護者による子供のスマホ利用の実態把握と注意程度は様々ですが、スマホを発端とするシリアルスな事件報道もあり、周辺が継続的により注意深く関心を持つべき重要課題と思われます。
3. 不登校生徒の実態と対応状況について報告と質疑が有りました。不登校の理由や状況は様々で、学びの教室担当教員・スクールカウンセラ体制・教員全体体制など来年度新入生人数・クラス数や教室の制約との関連も有り、慎重に検討が進められているようです。(詳細省略)
4. 教育調査・学校評価アンケートの進め方・まとめ方について議論が有りました。(省略)
5. 当初計画より遅れていた校舎建設工事が11月下旬より始まります。生徒の安全第一に加え、騒音が学習の妨げにならないよう工事は注意深く進められるようです。

以上

【運営協議会予定】 次回 ・10月16日(月) 15:00~

・12月18日(月) 14:30~(16:00~生徒会役員との懇談交流会予定)

・令和6年2月19日(月)・3月18日(月) いずれも 15:00~

(CS広報 月刊版)